

# はじめに

「子どもたちの前で何を話したら良いのか分からない」

「どうしたらもっといい話ができるだろうか」

本書を手にとってくださった読者の方は、こうした困りごとを抱えているのではないのでしょうか。私もこの実践をはじめの前はそうでした。

先生は、子どもに「話」をします。これは絶対です。朝の会や帰りの会には、当たり前のように「先生の話」コーナーがあります。授業も大きな枠では「先生の話」と捉えても良いでしょう。先生が一度も口を開かずに成り立つ授業は無いからです。このように、一日中子どもに「話」をしています。こんなに話をする場が与えられているのに、冒頭の困りごとを抱えている先生方が多いのです。それは、いったいなぜなのでしょうか？

理由は簡単です。話し手である先生自身が受け身だからです。学校現場は、聞かせるべき話で溢れています。職員室で挙がった生徒指導の話、委員会活動の話、時間割の連絡、テストの予定、学校行事の話など、毎日の連絡事項は膨大にあります。こうした話を受け身のまま子どもに聞かせていると、主体的に話すという感覚が分からなくなっていきます。受け身に慣れてしまうのです。

では、子どもたちはあなたの聞かせるべき話を真剣に聞いているのでしょうか。受け身でつくれ、話されて興味をもつでしょうか。きっと首を縦に振る人は少ないでしょう。つまり、内容は重要であっても、話し手である先生自身が受け身なせいで、子どもたちに切実性をもって伝わらないのです。一方、子どもたちは、先生がアドリブで思い付いた雑談のような話の方がよっぽど耳を傾けます。なぜなら、それは先生が聞かせたいと主体的に創り、話したからです。

では、どこに自分の聞かせたい話が転がっているのか。それは、あなたの中にあるのです。それなのに、私たちはなぜか外に探しに行ってしまう。私も同じでした。書店の教育書コーナーに行き、所謂「いい話集」のような本を読み

漁ったのです。しかし、それだけでは子どもたちの前で上手く話すことができませんでした。それは、自分ではない誰かが決めた「いい話」だったからです。つまり、ここでも受け身で話すことから脱け出せていなかったのです。結果、せっかく苦勞して集めたにも関わらず、子どもの心に響く話ができませんでした。

こうした経験から、私は気付きました。聞き手となる目の前の子どもたちの実態を一番良く理解しているのは、担任である自分自身である。だからこそ、その実態に合わせた子どもの心に響く話をするためには、「自分が本心から聞かせたい話だ」と思うことがスタートであると。あなたの『とっておきの話』は、あなたが創り、話してみせるからこそ、子どもにとっても『とっておきの話』になるのです。

本書も所謂「いい話集」に分類される本となるでしょう。しかし、本書のねらいは、読者の方を受け身にして「いい話」だと押し付けて紹介するものではありません。そのまま真似して話したい話もあれば、合わない話もあるでしょう。なぜなら、あくまで筆者である私が聞かせたいと思って創った話だからです。だからこそ、お手本ではなく叩き台として、「自分だったらこう話す」という主体的な視点で読んでいただけると幸いです。その視点は読者によって違うでしょう。違って良いのです。あなたが本心から聞かせたいと思ったその話が、あなたの目の前の子どもたちにとって聴きたい話なのですから。

教育学部の学生だった頃から始めた『とっておきの話』づくりは、今年で10年目の実践となります。創ってきた説話は450話以上。本書はその中から100話を、あらゆる観点で厳選し、修正を加えて掲載しています。Twitter上に公開していない新作も多数あります。どの話も、我が子のように大切に創り、話してきた私の『とっておきの話』です。たった1話でも、あなたにとっても『とっておきの話』が見つかり、冒頭の困りごとを抱えている人たちの助けになる一冊となれたら幸いです。ぜひ本書を片手に、『とっておきの話』が巻き起こす子どもたちとのドラマをお楽しみください。また、教員以外の方にとってもきっと心に響く話があるでしょう。まずは序章にて、『とっておきの話』の考え方や本書の使い方、索引ページをご覧ください。

# 目次

はじめに ..... 001

## 序 章

『とっておきの話』の考え方と使い方 ..... 005

- ・『とっておきの話』の考え方
- ・学級経営で生じる教育的ニーズからの索引
- ・本書の使い方
- ・5つの力の「小技」からの索引
- ・『とっておきの話』の読み方地図
- ・道徳科の内容項目で索引

## 第1章

自分自身を見つめ直したくなる『とっておきの話』 ..... 019

コラム「5分のとっておきの話と45分の授業」 ..... 080

## 第2章

温かい人間関係をつくりたくなる『とっておきの話』 ..... 081

コラム「一番熱をもって話せるのは自分が創った話」 ..... 142

## 第3章

集団や社会の一員として活躍したくなる『とっておきの話』 ..... 143

コラム「『とっておきの話』が連れてきたドラマ」 ..... 184

## 第4章

生命や自然、崇高なものから学びたくなる『とっておきの話』 ..... 185

コラム「誰も『とっておきの話』をもっている」 ..... 226

## 終 章

もっと楽しむ!『とっておきの話』クリエイターへの道 ..... 227

- ・言葉を優しくする
- ・1つの説話を2つの説話に分けて話す
- ・補足説明や補助資料を入れる
- ・説話のカリキュラムマネジメント
- ・自分なりの小技を生み出す
- ・『とっておきの話』の道徳科授業化モデル

おわりに ..... 235

# 『とっておきの話』の考え方

## 1 教師の語りと子どもの思考が織り成す双方向性の「説話」の効果

『とっておきの話』とは、たった5分ほどで話せる心に響く道徳的な説話であり、教師の一方的な語りによる説話とは違う、教師の語りと子どもの思考が織り成す双方向性の説話と言えます。学習指導要領解説の中で「説話」と検索すると、その効果が以下のように述べられています。

説話とは、教師の体験や願い、さまざまな事象についての所感などを語ったり、日常の生活問題、新聞、雑誌、テレビなどで取り上げられた問題などを盛り込んで話したりすることであり、児童がねらいの根底にある道徳的価値をより身近に考えられるようにするものである。教師が意図をもってまとまった話をすることは、児童が思考を一層深めたり、考えを整理したりするのに効果的である。

教師が自ら語ることによって児童との信頼関係が増すとともに、教師の人間性が表れる説話は、児童の心情に訴え、深い感銘を与えることができる。なお、児童への叱責、訓戒や行為、考え方の押し付けにならないよう注意する必要がある。

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編』（pp.85-86）

つまり、教師が意図をもってまとまった話をし、自ら語ることによって、教師の人間性が表れ、次の3つの教育的効果をもたらすことができます。

- (1) 児童がねらいの根底にある道徳的価値をより身近に考えられる。
- (2) 児童が思考を一層深めたり、考えを整理したりする。
- (3) 児童との信頼関係が増す。

だからこそ、教師が語る説話は、明確な意図をもち、自ら語る、教師自身の人間性が表れる主体的な『とっておきの話』でなければならないのです。

## 2 道徳の枠に収まらない『とっておきの話』の活用場面

では、説話は道徳の枠のみで発揮される教育実践でしょうか。つまり、道徳科授業がメインで説話はサポート的存在なののでしょうか。もちろん、本書でもそうした立ち位置から説話を検索できるようになっています。

しかし、説話の活用場面はそれだけではありません。これまで私は、さまざまな場面でこの『とっておきの話』を実践し、その効果を実感してきました。朝の会や帰りの会での語り、生徒指導での語り、他教科の授業での語り、それぞれの場面で子どもたちの姿は変わりました。私の『とっておきの話』を聞いたことがきっかけで自分事として考え、思考を深め、考えを整理し、行動したのです。そして何より、児童との信頼関係が深まり、学級経営において欠かせない実践になりました。

## 3 『とっておきの話』を生み出す5つの力

『とっておきの話』は、教師が次の5つの力を意識して鍛えていくことで誰でもできる教育実践です。授業づくりはハードルが高いと感じる先生方でも、まずはこうした説話づくりからはじめてみてはいかがでしょうか。本書ではそれぞれの力の具体的な活かし方や意図を持った鍛え方について、「小技」と呼んで索引や説話ページに載せています。

**探す力**

説話の素材を探し出す力

**創る力**

素材を使って説話を創る力

**見せる力**

説話中の素材の見せ方を工夫する力

**話す力**

説話中の話し方を工夫する力

**つなぐ力**

説話後に別の活動や媒体と関連させる力

# 本書の使い方








本書は、説話の辞書としても使えるようにしています。探しやすいように、次の3種類の索引を用意しました。

- 1 学級経営で生じる教育的ニーズからの索引
- 2 『とっておきの話』を生み出す5つの力の「小技」からの索引
- 3 道徳科の内容項目からの索引

もちろん、説話本文ページ中のアイコンから逆引きもできるようになっています。ぜひあなたに合った方法で本書をご活用ください。最も重要なのは、あなた自身の判断でああなたに合った方法を選択し、主体的に活用する姿勢です。「『とっておきの話』の読み方地図」も参考に、切り口を変えながら何度も読み返してみてください。それは、お気に入りの場所へ何度も旅をするのと同じです。

## 本文中の や吹き出し

実践する上での手立ての内容とタイミングを表しています。

- 提示**  長い言葉や写真などを見せます。
- 板書**  短い言葉や図解などを見せます。
- 挙手**  選択肢を与えて考える場や意思表示の場、理解度の確認の場を設けるために聞き手に挙手を促します。
- 指名**  子どもたち数人を指名して意見を聞きます。時間を割き過ぎないように気を付けながら、反応を返した上で話を進めます。
- 斉読**  全員で声を出して指示された言葉や文章を読みます。
- 復唱**  同じ言葉を繰り返し唱える時間を設けます。
- 演出**  物を使って動かしたり、話し手が演技をしたりします。

学年に応じて意味を補足して説明する必要がある部分に

# 『とっておきの話』の読み方地図

目指す子ども像や教師のねらい  
 素材にしたもの  
 学級経営に生かすポイント  
 どの内容項目の道徳科授業の説話として活用できるか

1

## 物事の見方を知る

### ありの目 鳥の目

第1章  
 自分自身を知る  
 1. 自分自身を知る

**【素材】** 父から聞いた話

**【ポイント】** 子どもたちの中には、全体を俯瞰できずに周りの空気が読めない子や、逆に細部を読みすぎて適当に済ませる子があります。両者に適して見える景は「物事の見方を理解していない」です。説話を通じて物事の見方を学ぶことで、学校生活を円滑に過ごすきっかけになります。

**【対応する内容項目】** 善悪の判断、自律、自由と責任

これは何ですか？ **【読法】** 目の写真  
 目ですね。人間の目は、2種類の目を使いこなすことができるようになってい  
 言われています。

1つ目 ○○の目  
 2つ目 ○の目

どんな目かわかりますか？

1つ目は、ありの目です。  
**【読法】** ありの絵 **【読法】** ありの目  
 これは、ありのように小さな生き物の立場になって、細かいところまでよく見ること  
 ができる目です。ありの目を使える人は、そうでない人とくらべて、小さな変化に  
 いち早く気づくことができます。




2つ目は、鳥の目です。  
**【読法】** 鳥の絵 **【読法】** 鳥の目  
 これは、鳥のように空からながめるようにして、全体を見渡すことのできる目です。  
 今、どんな雰囲気になっているか。周りの景色の変化にいち早く気づくこと  
 ができる目です。

どちらの目も、使えば使うほど、たくさんのが見えるようになります。

では、早速みんなのありの目を使ってみましょう。  
 教室を見渡して、何か気づくことがあれば動いてみましょう、ありの目を使ってね。  
 1分はかります。よいーい、はじめ。

ありの目の姿を評価しましょう

これから「ありの目」「鳥の目」を合言葉にして、いろんな見方ができる人にな  
 りましょう。

**『とっておきの話』を生み出す5つの力**

探す力 (小技④)	あなたの身近な人との会話の中で、「いい話だな」と思った話数はあ りませんか？ 聞き流していたら物足りない。それがそのまま素材とな るのです。
斬る力 (小技⑦)	対した事象を提示することで、聞き手に強い印象づけを行うことが できます。「ありの目」と「鳥の目」を同時に提示することで、印象深 い説話となります。
見せる力 (小技⑧)	「あり」「鳥」の部分を除いて見せることで、聞き手の興味を惹きつけま す。
話す力 (小技⑨)	実際に「ありの目」や「鳥の目」を使う時間を設ける演出を採むことで、 行動につなげます。
つなぐ力 (小技⑩)	説話後も学校生活の至る場面で「ありの目」「鳥の目」を合言葉にして 子どもたちに声かけて行動を促すことで、全体を俯瞰したり細部に 目を凝らしたりする姿勢が身につきます。

020
021

空白や改行は  
 「間をあげる」ポイント

小技の具体例や意図  
 (小技番号は索引に対応)

# 学級経営で生じる教育的ニーズからの索引

## A 自分自身を見つめ直したくなる『とっておきの話』

話	学級経営上のニーズ	タイトル
1	物事の見方を知る	ありの目 鳥の目
2	自分の行動を振り返る	やれなかった? やらなかった?
3	自立して動く	飛行機人間とグライダー人間
4	素直に反省をする	反省は、未来につながるタイムマシン
5	立ち止まることの大切さを知る	ブレーキの達人
6	自由のための自立を意識する	私を支えるもの
7	自由と責任の関係性を考える	自由の芽と責任の芽
8	小さな言葉遣いや行動から変える	3つの「こ」が変わる
9	最後まで正直を貫く	皇帝にもらった花のたね
10	○分前行動を習慣化する	チャンスをつかむ○分前行動
11	見た目や態度を直す意識を高める	計量カップの中のお茶
12	ていねいな字を意識する	どんな気持ちで書いたでしょう?
13	身だしなみを整える	おしゃれな身だしなみ
14	自己肯定感を高める	自信と約束 ~自分との約束を守る自分に~
15	自分の嫌なところと向き合う	大嫌いな自分も、大事な自分。
16	自分の良さを深め、広げる	自分だけの富士山を
17	怖がらず声を出す勇気をもつ	笑声 = 笑顔を届ける声
18	「はじめの勇気」を後押しする	できるようになる唯一の方法
19	恥を乗り越える	恥をかくほど「み」になる
20	意識して行動する	意識しなければ高くとべない
21	努力の大切さについて考える	努力は成功を約束していないが、成長は約束している。
22	あきらめない心育てる	「あきらめる」は後から身に付けた力
23	言葉遣いを見つめ直す	何を語っていますか?
24	一歩先の努力を意識する	プラスワン
25	大変なことを乗り越える	大変は、大きく変わる。
26	続ける力を鍛える	本物は続く 続けると本物になる
27	心機一転して進む	今日から、進年。
28	自分自身と勝負する	勝負するのは相手ではなく自分
29	違和感を大切に整理整頓する	違和感のすすめ
30	意味のある質問をする	ほしい答えにつながる質問



## B 温かい人間関係をつくりたくなる『とっておきの話』

話	学級経営上のニーズ	タイトル
31	相手意識を育てる	自分勝手と相手意識
32	わけ合うことを大切にする	わけ合えばあまる
33	親切な心を育てる	これから親切
34	言葉を伝えるタイミングを考える	賞味期限のある言葉
35	相手のために動く	ドラえもん、ひみつ道具は出さなくていい。
36	相手を安心させる言葉を伝える	困っている人には
37	いつもと違う親切の形を考える	親切のキャップ
38	心を込めて行動する	心ってどこにあるのでしょうか？
39	物にも人にも親切にする心を育てる	物を大切にできない人は
40	小さな恩を集めて大きな幸せを得る	恩送りとペイフォワード
41	感謝の伝え方について視野を広げる	ありがとうを重ねる
42	感謝の気持ちを伝える場面を考える	ありがとう込みの○○ +THANKS
43	感謝が生まれる場面を知る	新しいありがとうを作る方法
44	先生との接し方考える	先生は○○ではありません
45	大人との関係性も大切に	大人を育てる
46	親しき仲の礼儀を知る	おもてなしと経験泥棒
47	仲間について考える	群れと仲間のちがひ
48	チームで一丸となる	スーパーチームです
49	クラスメイトとの信頼関係を大切に	全員そろってベストなクラス
50	仲間との絆の大切さについて考える	先生がペンギンを好きな理由
51	息を合わせて動く関係をつくる	サインフレンド
52	相手との関係性を考える	間言葉(あいだことば)
53	どんな自分を見せるかを考える	自分身を使い分ける
54	心の中にいる人の存在を意識する	心の中で生き続ける人
55	「きく」姿勢を身に付ける	聞く→聴く→訊く
56	上手な相づちの仕方を知る	うなずき名人と相づち名人
57	心のやわらかさをもつ	あなたの心はセトモノ？
58	優しい人見つけを始める	本当に優しい人は
59	報告・連絡・相談の大切さを知る	ハウレンソウのおひたし
60	分かち合う喜びを理解する	ミラーニューロン ～分かち合う喜び～

## C 集団や社会の一員として活躍したくなる『とっておきの話』

話	学級経営上のニーズ	タイトル
61	一線を越えない心づかいができる人になる	線引きができますか？
62	ルールをみんなで守る	みんなで決めたから、みんなで守る。
63	偏見なく人と接する	選ぶより選ばれる人に
64	どの人とも公平に接する態度を養う	Win Win と Lose Lose
65	いろんな見方で人を見る	ネッカーの立方体
66	見られていなくても努力する	裏方努力＝陰徳
67	利他の精神で行動する	残り姿は美しく
68	親に感謝する気持ちが高める	親に感謝する日は4つ？
69	お手伝いを積極的にする	ファミリーメイト ～お手伝いより、おまかせあれ。～
70	家族の温もりを振り返る	千手観音の手
71	お弁当を作る家族の気持ちを考える	お弁当はふるさと
72	落ち着いた雰囲気をつくる	集中のシャボン玉
73	理想の学級像をイメージする	○年○組なべを作ろう
74	席替えの考え方を共有する	毎日席替えするクラス 席替えしないクラス
75	変化を成長につなげる	GをCに変える
76	一緒に学ぶ仲間の存在を感じる	なぜ西を向いて授業を受けるのか
77	居場所を再確認する	back to school
78	伝統を受け継ぐ人の存在を知る	一生を超える伝統時間
79	外国語を学ぶ良さを考える	英語で一番美しい言葉は？
80	外国の地域を細かく見つめる	どれもアメリカの写真です

## D 生命や自然、崇高なものから学びたくなる『とっておきの話』

話	学級経営上のニーズ	タイトル
81	桜の生態性から友を待つ心を学ぶ	友を待つ桜
82	生き物の寿命から生命の尊さを知る	セミの一生
83	動物の命について考える	78円の命
84	食べ物を尊敬して食べる	尊敬しているから食べる
85	身近なことからSDGsについて考える	こんなところにSDGs
86	共生と生物多様性について考える	地球の家 ～共生と生物多様性のレンガ～
87	自然のエネルギーを肌で感じる	海を見るだけで
88	感謝して食事をする	食事の裏に100人の手
89	先人の知恵に畏敬の念をもって学ぶ	あなたが一番かしくくなる
90	目の前の景色に感動する心を育てる	見えているのはね
91	見られている意識をもつ	みんな自分を、広告してる。
92	揃うことに喜びを感じる	物を揃えることは、心を揃えること。
93	悩みとの向き合い方を考える	悩みの10年後
94	悩んでいる時の心構えを知る	心の宿題がちがう
95	多様な価値観を楽しんで生きる	賛否両論ではなく、賛否虹論。
96	前を向いて生きる	もっと楽しくなるよね
97	人生を花で彩る	毎週咲かせる一輪の花
98	自分と世界との結びつきを感じる	バタフライ効果
99	将来の夢との向き合い方を考える	夢が叶う花 ～走りながら見つける夢～
100	世の中全てを面白がる態度を養う	おもしろ探し

# 第1章

自分自身を見つめ直したくなる  
『とっておきの話』



1

物事の見方を知る

# ありの目 鳥の目

**素材** 父から聞いた話

**ポイント** 子どもたちの中には、全体を俯瞰できずに周りの空気が読めない子や、逆に細部を疎かにして適当に済ませる子がいます。両者に通じて言える原因は「物事の見方を理解していない」です。説話を通して物事の見方を学ぶことで、学校生活を円滑に過ごすきっかけになります。

**対応する内容項目** 善悪の判断、自律、自由と責任

これは何ですか？ **提示** 目の写真

目ですね。人間の目は、2種類の目を使いこなすことができるようになっていると言われています。

- 1つ目 ○○の目
- 2つ目 ○の目

どんな目かわかりますか？

1つ目は、ありの目です。

**提示** ありの絵 **板書** ありの目

これは、ありのように小さな生き物の立場になって、細かいところまでよく見ることのできる目です。ありの目を使える人は、そうでない人とくらべて、小さな変化にいち早く気づくことができます。

2つ目は、鳥の目です。

**提示** 鳥の絵 **板書** 鳥の目

これは、鳥のように空からながめるようにして、全体を見渡すことのできる目です。今、どんな雰囲気になっているか。周りの景色の変化にいち早く気づくことのできる目です。

どちらの目も、使えば使うほど、たくさんの方が見えるようになります。

では、早速みんなのありの目を使ってみましょう。教室を見渡して、何か気づくことがあれば動いてみましょう、ありの目を使ってね。1分はかります。よーい、はじめ。

ありの目の姿を評価しましょう

これからも「ありの目」「鳥の目」を合言葉にして、いろんな見方ができる人になりましょう。



## 『とっておきの話』を生み出す5つの力

**探す力**  
(小技④)

あなたの身近な人との会話の中で、「いい話だな」と思った経験はありませんか？ 聞き流していたら勿体ない。それがそのまま素材となるのです。

**創る力**  
(小技⑦)

対比した事象を提示することで、聞き手に強い印象づけを行うことができます。「ありの目」と「鳥の目」を同時に提示することで、印象深い説話となります。

**見せる力**  
(小技⑥)

「あり」「鳥」の部分の隠して見せることで、聞き手の興味を惹きつけます。

**話す力**  
(小技⑥)

実際に「ありの目」や「鳥の目」を使う時間を設ける演出を挟むことで、行動につなげます。

**つなぐ力**  
(小技⑦)

説話後も学校生活の至る場面で「ありの目」「鳥の目」を合言葉にして子どもたちに声かけして行動を促すことで、全体を俯瞰したり細部に目を凝らしたりする姿勢が身につきます。

## 反省は、未来につながるタイムマシン

**素材** 大学時代の友達の話

**ポイント** 「反省」は学校生活を送る上で欠かせない心の働きですが、なんだかめんどくさい等のマイナスなイメージをもつ子もいます。そこで、タイムマシンに喩えることで、やってみようかなと思える説話がおすすです。

**対応する内容項目** 善悪の判断、自律、自由と責任

### 板書》》反省は、未来につながるタイムマシン

今日のとっておきの話はこんなタイトルなのですが、どういことなのか意味が分かる人？**挙手**》》これだけでは意味が分からない人もいますよね。話を聞きながら、一緒に考えていきましょう。

### 提示》》タイムマシンの絵

もしタイムマシンがあったら、過去と未来、どちらに行きたいですか。  
過去だという人？**挙手**》》 未来だという人？**挙手**》》

### 板書》》過去 未来

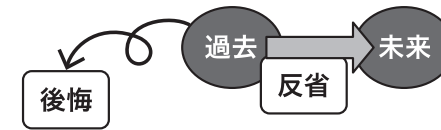
実はみんなの心の中には、「反省」というタイムマシンがあるのです。このタイムマシンは、今手を挙げた過去と未来、どちらにも行けるのです。

### 提示》》後悔 反省

「後悔」と「反省」。似ている言葉ですがどんな違いがあるのでしょうか。**指名**》》  
「後悔」は、過去にしばられるものです。でも、「反省」は、過去から未来を変えるものです。もし何か失敗したとき、「後悔」するだけでは過去にしばられるだけで

何も変わりません。「反省」することは、同じ失敗をしないように過去から未来を変えることができるのです。

### 板書》》「過去」「未来」「後悔」「反省」を図解する



タイムマシンに乗って過去を変えれば未来が変わる。なんだか「反省」とタイムマシンって似ていると思いませんか？

「反省」はいろんなところですることができます。みんなが書いている日記や授業のふりかえりも、立派な「反省」です。友達とけんかをして、自分のいけなかったことを考えて相手に謝ることも「反省」です。たくさんの「反省」が積み重なっていくと、それがまさに私たちにとっての未来につながるタイムマシンになるのではないのでしょうか。毎日の「反省」が未来につながるように、私たちの心の中にあるタイムマシンに乗せていきたいですね。

### 『とっておきの話』を生み出す5つの力

#### 探す力 (小技④)

「ねえ、すごい発見しちゃった」「何？」「反省って心のタイムマシンだね」「その考え方はおもしろいね！」学生時代の友人とのこんな会話から説話の素材が生まれました。素材との出会いはいつも突然。

#### 創る力 (小技②)

先にタイトルを提示し、どんな話なのか考えながら聞くように促すことで、最後まで集中して話を聞き、「反省」という行動につなげやすくなります。

#### つなぐ力 (小技①)

説話で扱うテーマが聞き手にとって難解なテーマほど、図解で板書すると分かりやすく伝わります。

#### 話す力 (小技⑦)

「どちらですか。」と挙手を促すことで、自分事として考えながら話を聞けるようになります。

#### つなぐ力 (小技①)

良い反省をしている子を見つける度に「未来につながっているね」「今、心の中のタイムマシンに乗っているね」と価値づけをします。

7

自由と責任の関係性を考える

# 自由の芽と責任の芽

**素材** 子どもたちの様子を見て

**ポイント** 自由ばかりを主張する子がいます。そういった子はお客さんのような感覚で学校に通っています。受け身で指示待ちでありながら、自由の無い環境を憂えています。そこに「責任を果たす」という視点を与えます。

**対応する内容項目** 善悪の判断、自律、自由と責任

**板書** 芽の絵を描く <学年に応じて「芽」の意味を説明しましょう>

これは、みんなの心の中にある自由の芽です。

**板書** 自由の芽

誰もが育てたい芽です。自由が広がると嬉しいですよ。自分は今、どれくらいこの芽が育っていると思いますか？ 体で表現してみてください。

**演出** 子どもたちにジェスチャーを促す

なるほど。でもね、先生は同時に育ててほしい芽があると思っています。

**板書** ○○の芽

○○の中にどんな言葉が入るか分かりますか？ **指名**

自由の芽と一緒に育てる芽。正解は……責任の芽です。

**板書** 責任の芽

自由の芽と責任の芽は、同じ高さで育てていかないと心のバランスが悪くなり、

思うように自由がもらえなかったり、責任の重さに辛くなったりします。

**提示**

A 自由の芽が高く、責任の芽が低い状態



B 自由の芽が低く、責任の芽が高い状態



Aのように自由の芽ばかり育つとわがままな心が育ち、「ルールを守る」という責任を果たさずに自由と向き合うことになります。これでは周りの人とトラブルが起きたり、危険にさらされたりして心配なので自由は与えられません。

Bのように責任の芽ばかり育つと責任感をもち過ぎてしまい、限られた自由の中でがんばることになります。これでは息苦しく、心が疲れてしまいます。

自由が増えると楽しい思い出ができます。責任を果たす経験を積み重ねると自信が湧いてきます。自由の芽と責任の芽は同時に育てていきましょう。

## 『とっておきの話』を生み出す5つの力

**探す力**  
(小技⑧)

子どもたちの様子を見て、「自由の芽と責任の芽」という説話を即興で考えました。今話すべき話題だと感じたからです。

**創る力**  
(小技③)

「なぜ自由も責任もどちらも大切にしないといけないのか」が納得できる理由を分かりやすく伝えられるように、言葉を選んで創りました。

**見せる力**  
(小技⑦)

自由の芽と責任の芽を同時に育てるイメージがしやすいように、2つの芽のイラストを同時に見せ、比べて考えられるようにします。

**話す力**  
(小技⑥)

自由がほしい！ という聞き手の気持ちに共感するためにあえてどれくらいほしいのかを体で表現する演出を導入で取り入れました。ジェスチャー中には「確かに自由はたくさんほしいよね」と共感します。

**つなぐ力**  
(小技⑤)

カードで毎週末どこまで育ったか振り返ったり、掲示物にしてクラス単位で振り返ったりしても良いでしょう。

19

恥を乗り越える

# 恥をかくほど「み」になる

**素材** 「み」と読める漢字

**ポイント** 学校生活において、全体に向けて発言したり発表したりする場面は数多く存在します。そんな中、恥ずかしがって一步踏み出せない子もいます。恥を乗り越えると良いことにつながるという考え方が大切です。

**対応する内容項目** 希望と勇気、努力と強い意志

**板書** 恥

学年に応じて「恥」の読み方や意味を説明しましょう

今まで、恥ずかしいと思った場面はありますか？

例えば、みんなの前で一人でスピーチをすることが恥ずかしいと思う人もいるかもしれません。学芸会でいろんな人の注目をあびながら演技をするのが恥ずかしいと思う人もいるかもしれません。

こんな言葉があります。

**提示** 人は、恥をかくほど“み”になる

この“み”にはどんな漢字が当てはまるでしょう？

**板書** 実

周りの目を恥ずかしがらず、努力し続ければ、実になります。努力は実るのです。

**板書** 身

自分にとって恥ずかしいと思うことでも、チャレンジしてみることは必ず身にな

り、無駄にはならないという意味です。恥ずかしいからやらないと思わず、ちょっと恥ずかしいことでも乗り越えてみようという気持ちで、いろんなことにチャレンジしてみてください。

**板書** 味

恥ずかしいこともチャレンジし続けていると、自分の人生が味わい深くなります。「あの時は恥ずかしかったけど、やってよかったなあ」と思える思い出がたくさんあった方が、味わい深い人生になるのではないのでしょうか。

## 恥 ➡ 実 + 身 + 味

『とっておきの話』を生み出す5つの力

**探す力**  
(小技①)

同じ読み方でも意味の違う漢字は世の中に数多く存在します。その中でも、漢字1文字のインパクトは強く残ります。1つのテーマに対して漢字1文字の組み合わせが複数見つければ、素材として十分です。

**創る力**  
(小技⑨)

説話の導入では、聞き手の子どもたちが共感しやすい話題から始めることで、自分事として興味を惹きつけることができます。

**見せる力**  
(小技②)

漢字1文字の板書をする際、なるべくゆっくと大きく板書してみましょう。見る人によりインパクトを与えることができるようになります。

**話す力**  
(小技①)

素材である漢字1文字のインパクトを最大限活かすために、長々とした補足説明はいりません。その分、間を空けて丁寧に話すようにしましょう。

**つなぐ力**  
(小技⑦)

「み」になる場面を見かける度に子どもたちの背中を後押しする言葉をかけしてみましょう。恥を乗り越える力が身に付いていくことでしょ



## 努力は成功を約束していないが、成長は約束している

**素材** 学生時代の友人の言葉

**ポイント** 失敗を恐れて努力をしない子がいます。努力をしたってどうせ成功するとは限らないという考え方は。だからといって、努力は無駄だと決めつけられるものではありません。必ず成長につながることを伝えます。

**対応する内容項目** 希望と勇気、努力と強い意志

### 板書》努力はむくわれる

そう思うという人は○、そう思わないという人は×を書きましょう。

**指名**》それぞれの立場の子を何人か指名し、意見を聞く

こんな言葉があります。

**提示**》努力は成○を約束していない

○の中には、「功」という漢字が入ります。

努力は成功は約束していない。努力は絶対にむくわれるとは約束できないという意味です。

実は、この言葉には続きがあります。こんなふうにつながります。

**提示**》努力は成功を約束していないが、**斉読**》

**提示**》努力は成功を約束していないが、成○は約束している。

○の中に入る文字は何でしょう？ **指名**》

○の中には、「長」という漢字が入ります。みんなで読んでみましょう。

**提示**》努力は成功を約束していないが、成長は約束している。

あなたたちの努力は、必ずむくわれるとはかぎりません。

成功とは反対の、失敗ばかりかもしれません。

でも、努力すればするほど、必ずあなたたちの成長にはつながっていきます。自分の成長につながる努力を続けた人には、いつか必ず成功が待っています。それが、本当の意味での「努力はむくわれる」なのでしょう。

あなたが今している努力はありますか？

### 『とっておきの話』を生み出す5つの力

#### 探す力 (小技④)

みなさんの周りの人に、「好きな言葉は？」と聞いてみたことはありますか？ そこから思わぬ説話の素材となる言葉を得られることがあります。私は友人との会話から多くの言葉を得ました。

#### 創る力 (小技⑦)

もう一つの努力に関する有名な言葉「努力はむくわれる」と対比させて素材の言葉を提示することで、努力と成長のつながりを印象付ける話にしています。

#### 見せる力 (小技⑥)

共通している文字をあえて見せ、一文字だけ隠してどんな漢字が入るのかを考えるように促すことで、「成功は約束していないが成長は約束している」という言葉の意味について深く考えられるようにします。

#### 話す力 (小技④)

言葉を提示した後は間をおきます。子どもたちが言葉を味わう時間を作り出すのです。その際、表情や反応を見て間の長さを調整してみてください。

#### つなぐ力 (小技③)

大会前や試合前など、成功や失敗の結果が待っている行事に臨む際、この言葉を再び提示してどんな話だったのか振り返ってみましょう。